

## 平成 27 年度 第 4 回 理 事 会 の 開 催

平成 27 年度 第 4 回理事会が、平成 27 年 9 月 10 日、明治記念館・丹頂の間において開催された。本理事会では、決議事項として、①「第 1 号議案 副会長の順序に関する件」、②「第 2 号議案 公益社団法人日本獣医師会定款施行細則の一部改正に関する件」、③「第 3 号議案 役員候補者推薦管理委員会委員の選任に関する件」、④「第 4 号議案 日本獣医師会会長特別感謝状に関する件」、⑤「第 5 号議案 第 2 回 世界獣医学協会—世界医師会 “One Health” に関する国際会議の開催に関する件」、⑥「第 6 号議案 賛助会員入会に関する件」について諮られ、承認された。続いて、協議事項として、①「全国獣医師会会長会議における常設正副議長に関する件」が協議された。説明・報告事項として、①「特別委員会及び部会委員会に関する件」、②「当面の課題への対応方針（ロードマップの策定）に関する件」、③「獣医学術学会年次大会の開催に関する件」、④「2015 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” の開催に関する件」、⑤「日本医師会—日本獣医師会学術連携シンポジウム『越境性感染症の危機管理』の開催に関する件」、⑥「職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）」について、さらに連絡事項として、①「1 当面の主要会議等の開催計画に関する件」が説明された（議事概要は下記のとおり）。

### 平成 27 年度 第 4 回理事会の議事概要

I 日 時：平成 27 年 9 月 10 日(木) 14:00～17:00

II 場 所：明治記念館・丹頂の間

III 出席者

【会 長】 藏内勇夫

【副 会 長】 砂原和文, 村中志朗

酒井健夫 (学術・教育・研究兼獣医学術  
学会担当職域理事)

【専務理事】 境 政人

【地区理事】 山内正孝 (東北地区)

高橋三男 (関東地区)

小松泰史 (東京地区)

宮澤 宏 (中部地区)

玉井公宏 (近畿地区)

安食政幸 (中国地区)

寺町光博 (四国地区)

坂本 紘 (九州地区)

【職域理事】 麻生 哲 (開業・産業動物臨床担当理事)

細井戸大成 (開業・小動物臨床)

横尾 彰 (家畜共済)

鎌田健義 (家畜防疫・衛生)

木村芳之 (動物福祉・愛護)

栗本まさ子 (特任)

【監 事】 柴山隆史, 波岸裕光, 山根 晃

【オブザーバー】 北村直人 (日本獣医師政治連盟委員長)

(欠 席) 高橋 徹 (北海道地区理事)

加地祥文 (公衆衛生職域担当理事)

IV 議 事：

【議決事項】

第 1 号議案 副会長の順序に関する件

日獣会誌 68 667～670 (2015)

第 2 号議案 公益社団法人 日本獣医師会定款施行細則の一部改正に関する件

第 3 号議案 役員候補者推薦管理委員会委員の選任に関する件

第 4 号議案 日本獣医師会会長特別感謝状に関する件

第 5 号議案 第 2 回 世界獣医学協会—世界医師会 “One Health” に関する国際会議の開催に関する件

第 6 号議案 賛助会員入会に関する件

【協議事項】

全国獣医師会会長会議における常設正副議長に関する件

【説明・報告事項】

1 特別委員会及び部会委員会に関する件

2 当面の課題への対応方針（ロードマップの策定）に関する件

3 獣医学術学会年次大会の開催に関する件

4 2015 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” の開催に関する件

5 日本医師会—日本獣医師会学術連携シンポジウム「越境性感染症の危機管理」の開催に関する件

6 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

7 その他

【連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

2 その他

V 会議概要

【会長挨拶】

1 冒頭、藏内会長から大要次の挨拶がなされた。

(1) 8 月から開催されている各地区獣医師大会には、

本会役員が出席させていただいているが、各地区大会、学会等では企画・運営等に変な尽力をいただいております、関係各位に重ねてお礼を申し上げます。

(2) 10月3日開催の動物感謝デーも近づいているが、本年も盛会となるよう地方獣医師会の特段の協力をお願いしたい。

(3) 11月6日には、第3回の医師会との連携シンポジウムを日本医師会館大講堂で開催する予定であり、併せて協力をお願いしたい。

(4) 医師会との協定の締結については、9月2日に鹿児島獣医師会が県医師会と協定を締結し、25の都道府県市での連携が整うが、今期はすべての都道府県でネットワークを築き上げたいと考えており、今後とも理事各位の支援をお願いしたい。

(5) 本年5月にスペインで開催された世界医師会、世界獣医師会の合同大会には、本会から私と酒井副会長が、日本医師会から横倉会長が出席し、それぞれ会長が講演を行ったところである。先般、世界医師会及び世界獣医師会から2年後の第2回合同大会を日本で開催したいとの要請があり、本会と医師会の執行部において開催に向けた協議を行っている。ぜひともわが国で開催できるよう支援願いたい。

(6) 本日の審議内容は、きわめて重要な議題が多いため、十分な審議をお願いしたい。

**2 定款第40条の規定に基づき、藏内会長が議長に就任し、以下の議事が進められた。**

#### 【議決事項】

##### 第1号議案 副会長の順序に関する件

境専務理事から、第72回通常総会における役員選任、さらに第3回理事会における代表理事及び執行理事の選定において、副会長3名が選定されたことに伴い、定款第27条（理事の職務及び権限）第3項の規定に従い副会長の順序を定めるが、その順序は、業務運営幹部会（7月23日開催）における協議により、砂原和文副会長、村中志朗副会長、酒井健夫副会長の順序とすることについて承認が求められ、満場一致で承認された。

##### 第2号議案 公益社団法人 日本獣医師会定款施行細則の一部改正に関する件

境専務理事から、全国会長会議と本会との連携・連帯のいっそうの強化のため、当該会議に常設議長及び副議長を設置することについては、平成25年度第4回理事会（平成25年9月10日開催）及び平成25年度全国会長会議（平成25年10月25日開催）の場において協議、了承されたが、議長及び副議長について特段の規定がないことから、その位置付けを明確にするため、定

款施行細則の一部改正を行うことについて承認が求められ、満場一致で承認された。

##### 第3号議案 役員候補者推薦管理委員会委員の選任に関する件

境専務理事から、日本獣医師会役員選任規程第6条第2項において、推薦管理委員会の委員は、会員構成獣医師のうちからあらかじめ理事会の承認を得た上で、会長が委嘱することとされているが、現委員の任期が平成27年9月末日のため、新たな委員を委嘱することについて承認が求められ、満場一致で承認された。

##### 第4号議案 日本獣医師会会長特別感謝状に関する件

境専務理事から、去る6月22日をもって本会理事を退任した森田邦雄氏は、本会理事（公衆衛生職域理事）を平成13年7月から連続7期、14年間にわたり在任し、本会役員在任連続5期、10年以上の者を日本獣医師会会長特別感謝状授与の対象とする申し合わせ（平成15年第3回理事会）に該当することから、日本獣医師会褒賞規程第2条第3項の規定に基づき、会長特別感謝状を授与することについて理事会の承認を求められ、満場一致で承認された。

##### 第5号議案 第2回 世界獣医学協会—世界医師会 “One Health”に関する国際会議の開催に関する件

境専務理事から、本年5月、世界獣医学協会（WVA）と世界医師会（WMA）は、人と動物の健康と環境の保全に関する関係者の連携と情報共有を図るため、第1回目 の WVA-WMA Global Conference of One Health（GCOH）をスペイン・マドリードにおいて開催した。第1回 GCOH の成功を受け、“One Health”理念のいっそうの普及推進を意図して、医師会・獣医師会の連携成功のモデルである日本医師会・日本獣医師会に対し、第2回の GCOH の日本での開催が要請された。これを受け、日本医師会と日本獣医師会は「人と動物の健康と環境の保全を推進するため、それぞれに関係する医師、獣医師等の専門家が緊密な協力関係を構築し、一体で取り組む必要があるとする“One Health”の理念を国際的に普及・推進すること」を目的とし、2017年（2日間）、福岡県において、関係省庁及び自治体等の後援を得て、本大会を開催することについて理事会の承認を求められ、満場一致で承認された。

##### 第6号議案 賛助会員入会に関する件

境専務理事から、入会申し込みのあった個人賛助会員1名について入会の可否が諮られ、本議案は異議なく承認された。

## 【協議事項】

### 全国獣医師会会長会議における常設正副議長に関する件

境専務理事から、先ほど承認された定款施行細則第16条に基づき新たな全国会長会議における常設正副議長候補者を地区理事の中から互選することについて協議いただきたい旨説明され、高橋三男関東地区理事が議長に推挙され、承認された後、高橋議長から宮澤 宏中部地区理事が副議長に推挙され、満場一致で承認された。

## 【説明・報告事項】

### 1 特別委員会及び部会委員会に関する件

境専務理事から、平成27年度特別委員会及び職域部会の活動計画が示され、まず全体の基本方針として、次の5つの事項について説明された。

- ①費用対効果を考慮しながら、スピード感をもって積極的に取り組む。
- ②地方獣医師会と情報の共有化を図りながら、適切な人材、必要な員数等を考慮して人選をする。
- ③検討テーマの設定に当たり、重要性、緊急性等を考慮し、スクラップ・アンド・ビルドの考え方を基本的にテーマ数を絞る。
- ④複数の委員会にまたがるテーマについては、各部会間で調整の上、合同委員会の設置、または部会間での委員の派遣を行い、効率的に検討を行う。
- ⑤できる限りeメールを活用して、効率的な運営を図る。次に各委員会の検討課題、担当副会長、担当部長、委員候補者について説明された。

続いて各部会委員会の開催状況として、動物愛護・福祉部会においては、7月28日に第27回日本動物児童文学賞審査委員会が開催され、応募93作品のうち、1次審査で絞られた12作品の中から、大賞1作品、優秀賞2作品、奨励賞5作品を選定された旨報告された後、本件は了承された。

### 2 当面の課題への対応方針（ロードマップの策定）に関する件

境専務理事から、会長の方針である課題については、ビジョン及びミッションを明確にして、グランドデザインを描き、スピーディーに対応するとの観点から、特に医師会との連携推進委員会、狂犬病予防体制整備委員会、マイクロチップの普及に関する特別委員会、小動物委員会における認定動物看護師の公的資格化、女性獣医師支援検討委員会については、これまでの成果、課題、留意事項、関係する情勢・制度の動き、各検討課題、関係する業務を示すとともに、成果目標達成までの5年のロードマップを作成した旨説明・報告された後、本件は了承された。

### 3 獣医学術学会年次大会の開催に関する件

境専務理事から、平成27年度については、平成28年2月26日(金)～28日(日)、秋田キャッスルホテル、秋田アトリオン、にぎわい交流館AUにおいて秋田県獣医師会共催（秋田県獣医師会運営委託・東北獣医師会連合会協力開催形式）により、平成28年度については、平成29年2月24日(金)～26日(日)、石川県立音楽堂、その他金沢駅周辺会場(予定)において石川県獣医師会共催（石川県獣医師会運営委託・中部獣医師会連合会協力開催形式）により開催する予定である旨説明された。

続いて、麻生理事から、平成29年度については、大分県獣医師会が運営を受託し、開催したいので、ご支援、ご指導をお願いしたい旨説明された後、本件は了承された。

### 4 2015動物感謝デー in JAPAN

#### “World Veterinary Day”の開催に関する件

境専務理事から、「2015動物感謝デー in Japan “World Veterinary Day”」については、平成27年10月3日(土)10時～17時、東京都立駒沢オリンピック公園中央広場で、関係省庁、地元自治体、関係団体からの後援、全国55の地方獣医師会、16の獣医学系大学をはじめ、関係機関・団体・企業から協賛・協力を得て開催する予定であり、多くの方に参加いただきたい旨説明された後、台風等の際の対応について質疑があり、境専務理事から委託業者とも協議し、判断した時点で速やかに協賛団体等に連絡する予定である旨が回答され、本件は了承された。

### 5 日本医師会—日本獣医師会学術連携シンポジウム「越境性感染症の危機管理」の開催に関する件

境専務理事から、昨年10月の日比谷公会堂、本年2月の学会年次大会に続き、11月6日に日本医師会館大講堂において、越境性感染症の現状と課題をテーマに日本医師会の小森常任理事のほか、医師2名、獣医師1名の講師を迎え、第3回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウムを開催するので、参加の広報等に支援いただきたい旨が説明され、本件は了承された。

### 6 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

各地区理事から職務の遂行状況が、境専務理事から、平成27年6月11日以降8月31日までの業務概況等についてそれぞれ説明がなされた。

## 【連絡事項】

### 1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

境専務理事から、当面の関係会議等の開催日程について説明がなされた。

## 2 そ の 他

### 日本獣医師政治連盟の活動報告

北村委員長から、日本獣医師政治連盟は、6月22日の役員改選以降、北村委員長、烏海副委員長、篠原幹事長、境会計責任者という布陣で発足したことが報告された。

さらに政治連盟は年度が1～12月であるため、10月2日の第3回役員会が新役員による初の役員会となるが、7月1日には、日本獣医師会と連名で自由民主党の動物愛護推進議員連盟の総会の席上、マイクロチップ推進の要請書を正式に提出する等活動を進めている。続いて8月25日には、平成28年度の農林水産関係予算についての団体要望並びに平成27年度農政推進協議会総会に出席したが、次年度は獣医師関連の税制改正要望はなく、予算概算要求も農林水産省担当部局で確保されており、これを応援するという対応とした。以降、衆参国会

議員、特に獣医師問題議員連盟所属議員のセミナーに出席した。

なお、昨日、藏内会長とともに石破茂地方創生大臣と2時間にわたり意見交換をする機会を得た。その際、大臣から今回の成長戦略における大学、学部の新設の条件については、大変苦慮したが、練りに練って誰がどのような形でも現実的に参入は困難という文言にした旨お聞きした。このように石破大臣へも官邸からの相当な圧力があつたものと考ええる。しかし、特区での新設が認められる可能性もあり、構成獣医師にも理解を深めていただくよう、私が各地区の獣医師大会等に伺い、その旨説明をさせていただいている。

秋には内閣改造も行われると聞いており、新たな動きが想定されるが、政治連盟では、藏内会長と連携をとりながら対応していくので、各位のさらにご指導をお願いしたい旨が説明された。